

品質性能試験報告書

試験名称	枠組壁工法用接合金物の引張試験						
依頼者	株式会社 タナカ						
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 商品名：2×4用ビスどめホールダウンHi27 用途：柱脚に使用する接合金物（アンカー型） 寸法：140×40×46.5mm, 厚さ3.2mm及び4.5mm</p> <p>2. 接合具 木ねじφ7.2×75mm, 5本使用 アンカーボルト：六角ボルトM16×240mm</p> <p>3. 使用枠組 たて枠：枠組壁工法構造用製材, JAS 甲種枠組材2級, 樹種；S-P-F, 寸法；38×89mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体予備試験体） 参照：図-1及び図-2（試験体）</p>						
試験方法	「2007年 枠組壁工法建築物構造計算指針」（監修／国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，発行／社団法人日本ツーバイフォー建築協会）の第V編「材料及び接合部の許容応力等を定める試験・評価方法とその解説」の1.2.3「接合部の基準許容応力および基準終局耐力並びに基準剛性（繰返し加力接合部試験によるもの）」に準じて行った。試験方法を図-3に示す。						
試験結果	試験体記号		試験許容応力時		試験終局耐力		試験剛性 (K) kN/cm
	記号	番号	(Py) kN	(δy) mm	(Pu) kN	(δu) mm	
	HD2-150 -204	0	27.2	6.1	41.8	24.2	44.6
		1	28.1	6.9	43.9	30.0	40.7
		2	31.1	7.0	47.7	30.0	44.4
		3	29.6	5.3	46.3	23.4	55.8
		4	29.0	4.9	45.0	25.1	59.2
		5	29.1	5.0	44.0	19.4	58.2
		6	29.6	4.6	44.4	21.6	64.3
		平均	29.4	5.6	45.2	24.9	53.8
標準偏差 s		0.99	1.06	1.50	4.37	9.19	
5%下限値		27.1		41.7		—	
基準値		基準許容応力 18.1	—	基準終局耐力 41.7	—	基準剛性 53.8	
(注) 基準許容応力は試験許容応力の5%下限値に2/3を乗じた値であり，基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。また，基準剛性は試験剛性の平均値である。 参照：表-1（2/3Pmax時，最大荷重時及び破壊状況） 図-4及び図-5（荷重-変位曲線） 写真-1～写真-6（破壊状況）							
試験期間	平成26年 2月20日						
担当者	構造グループ 統括リーダー 川上 修 統括リーダー代理 赤城 立也 高橋 慶太（主担当）						
試験場所	中央試験所						